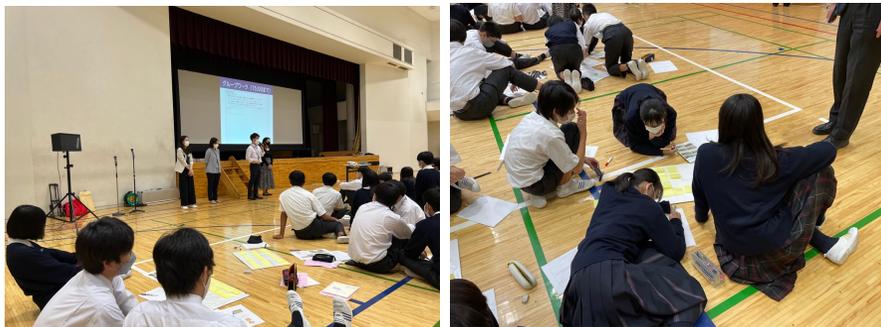


地域連携企画

桐蔭学園中等教育学校



まちづくりについて知り、中学生目線で まちなかの居場所について考えてみる

桐蔭学園中等教育学校で行われている「地域連携企画」の一環で、2年生を対象に講演とワークショップを実施しました。

講演では、事前に撮影をした動画を授業で見えていただき、横浜市や多摩田園都市のまちづくりとその歴史、次世代郊外まちづくりの取組、中学生が共感できるまちづくりの事例などを紹介しました。

ワークショップでは、「中学生の居場所」をテーマに、自分たちにとっての居心地の良い場所の特徴や楽しいこと・ワクワクすることを整理しながら、まちとの接点を考え、「楽しい」が集まるまちの居場所のアイデアを出していただきました。

中学生ならではの視点が入った居場所のアイデアに、発表時には会場みなさんが笑顔になり、とても楽しみながら取り組んでもらえたことがわかりました。

アントレプレナーシップ講座

神奈川県立元石川高校



地域から広がる「エシカルライフ」を 高校生目線で考える、提案する

アントレプレナーシップ講座は、起業家精神などを学びながら、企業や自治体、NPO、大学などと協同し、実践的な内容を取り入れながら、元石川高校の科目として実施されている授業です。

昨年度に引き続き、次世代郊外まちづくり事務局が本講座のパートナーとして取り組みました。

今年度は「高校生が考える『ひろがるAOBAエシカルライフ』」というテーマを投げかけ、様々な分析・提案をしていただきました。難しいテーマでしたが、それぞれの班が考える「エシカル」を定義し、調査や検討進めてくださいました。

最終発表では、オリジナリティ溢れるわかりやすいプレゼンテーションで発表してくださいました。

講座終了後、AOBA賞とエシカルライフ賞を受賞した有志の学生さんによるスピンアウト企画を実施しました。



総合学習

横浜市立美しが丘小学校



地域への愛着や誇りが生まれる

地域の再発見ができる総合学習を企画

美しが丘小学校の6年2組を対象に、地域を知り再発見することでまちへの愛着や誇りを持ってもらうことを目的とした総合学習を計画しました。

授業は90分間で、横浜市のまちづくり・次世代郊外まちづくり・いろいろな人が行っているまちづくりに関する講義から始まり、各スポットに隠れているまちづくりの要素・工夫などをクイズ形式で出題・解説するまちづくりクイズを行いました。

また、「美しが丘のまちやまちづくりを紹介しよう」というテーマのもと、ワークショップを行い、話し合ったことを発表していただきました。「つながるたまプラーザ」というキャッチコピーを紹介していただいたり、「まちづくりにはたくさんの方が関わっている！」などの気づきを紹介していただきました。

Well-beingカンパニーを作る

Redesign for Wellbeing Community

台湾・横浜アイデアソン

住宅とコミュニティを中心に、持続可能な開発に向けた郊外部の活性化

空き家や空き地再利用、多世代共生などをテーマに、アフターコロナの横浜市における郊外部の課題共有と共創企業からのインプットや、台湾における持続可能な開発とビジョンに関するレクチャーを行いました。また、問題意識や課題現状分析に関するワークショップ、インパクトロジックモデルを使ったビジネスランニングに関するワークショップを行いました。

次世代郊外
まちづくり
共創企画

郊外部活性化プロジェクト
台湾・横浜合同アイデアソン

2022年 7月24日 (日) 14:00-18:00



横浜市とサービスデザインの株式会社ニューロマジック、ソーシャルビジネスのインパクトハブ台北が共同で行うアイデアソンです。横浜と台湾のみさんがオンライン上で一緒にアイデアを考えるイベントです。

neuromagic

株式会社ニューロマジック、株式会社NTTドコモからのインプット

WELL BEING

neurothology
Ideology for Well-being Community

YOKOHAMA

TAIPEI

こんな地域課題を解決

(空き地・空き家など) 地域資源をうまく活用したい。みんなに便利な地域交通を考えよう。多世代共生で助け合う仕組みはできないだろうか。

プログラム案

①主催者挨拶
 ②横浜市・台北市からの課題提供
 ③横浜市、東急株式会社、株式会社NTTドコモからのインプット
 ④グループ分け-アイスブレイク
 ⑤台湾ソーシャルビジネス紹介
 ⑥デザイン思考 (UXデザイン) レクチャー
 ⑦アイデアソン前半 (アイデア出し)
 ⑧ビジネスプランニングレクチャー
 ⑨アイデアソン後半 (まとめ)
 ⑩グループ別発表
 ⑪講評
 ⑫今後の進め方など告知

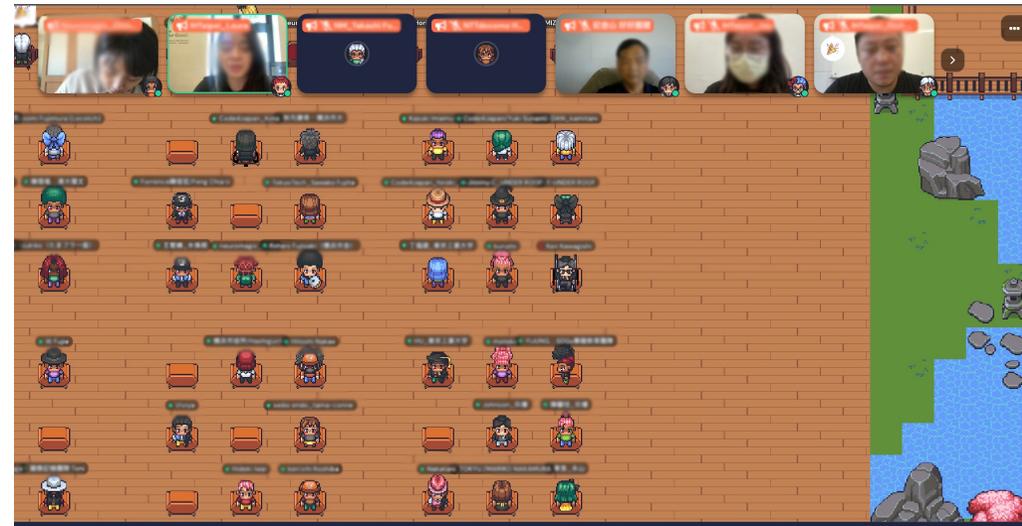
参加申込はこちら



お問い合わせ
株式会社ニューロマジック：担当 藤本
takehi.tajimoto@neuromagic.com

●プラットフォーム

Gather.Town (ギャザータウン) は、参加者が移動しながら会話したり、会議やディスカッションができるバーチャルオフィスです。このプラットフォームは、「メイン会議」と「ブレイクアウトルーム」の両方を必要とするハッカソン形式のイベントに最適です。



M-NEXプロジェクト

美味しくくて健康的な環境に優しいレシピづくりゲーム

慶應義塾大学情報環境学部・政策メディア研究科
 厳網林研究室

「美味しくくて健康的な環境に優しいレシピづくりゲーム」を開発

「美味しくくて健康的な環境に優しいレシピづくりゲーム」は食材の形をした立体型模型を用いて環境と健康面の両方を考慮したカレーのレシピを作成するものです。模型の表面は食材の絵柄、食材量、生産国を、裏側は食材の栄養素を表しています。模型の重さは生産時に排出される食材量当たりのCO₂排出量となっており、参加者は模型を手にとってCO₂の重さを感じながらカレーに必要な食材を選択、その総CO₂排出量を秤で計測します。

ワークショップ1回目「脱炭素を楽しく学ぼう」

主催者：青葉区役所区政推進課企画調整係

実施日時・場所：2022年12月3日、9:30～15:00、こどもの国

参加者：未就学児や小学生

使用模型：国産2セット、食材計39種類

進め方：栄養素別に食材を選択しやすいよう栄養素を示す色紙の上に模型を配置した。ゲーム前にCO₂に関する紙芝居を実施し、5つの食材を選んでもらった。秤で選択した食材の総CO₂排出量を計測後、以下の脱炭素貢献度のどこに位置するかを把握してもらった。

2022/12/3 レシピのCO ₂ 排出量	レシピ数
0～100(g-CO ₂)	16
100～200(g-CO ₂)	16
200～300(g-CO ₂)	10
300～400(g-CO ₂)	8
400～(g-CO ₂)	3
合計	53



ワークショップ2回目「田園都市から始めるゼロカーボンフェスタ」

主催者：次世代郊外まちづくり

実施日時・場所：2023年2月11日、10:00～16:00、プラス青葉台

参加者：中高生や大人

使用模型：国産1セット+海外産1セット、食材計39種類

進め方：国産の隣に海外産を並べて俯瞰できるよう低めの机を円状に設置し、買い物感覚で模型を選択してもらった。参加者のCO₂認知度が高かったため紙芝居は省略し、海外産を参加者が選択した場合は、輸送によるCO₂排出量模型を選択した数に応じて追加で計上した。

2022/12/3 レシピのCO ₂ 排出量	レシピ数
0～100(g-CO ₂)	8
100～200(g-CO ₂)	13
200～300(g-CO ₂)	13
300～400(g-CO ₂)	11
400～(g-CO ₂)	9
合計	54

